

【論文提出者】 社会文化科学研究科 文化学専攻文化形成論講座社会文化構造論分野
林 千寿

【論文題目】 慶長五年の戦争と戦後領国体制の創出

【授与する学位の種類】 博士（文学）

【論文審査の結果の要旨】

いわゆる関ヶ原合戦が、美濃関ヶ原のみならず、全国規模で戦われている事実に注目し、この全国戦争を「慶長五年の戦争」と呼び、全国各地域の戦争と、地域戦争のなかからつくり上げられてくる戦後大名領国体制の具体相を究明した本論文は、美濃関ヶ原＝中央＝徳川氏を中心に検討されてきた関ヶ原合戦研究・幕藩体制成立史研究に再考を迫る観点と実証的内容を提示した成果として高く評価し得る。高い水準での合格と判定する。

【最終試験の結果の要旨】

関ヶ原合戦は、合戦そのものが人口に膾炙され、幕藩体制成立の本質理解に通じるため、最終試験における質問は、きわめて高度な内容であったが、林氏の回答は、全国の関係史料を踏査し、これを徹底分析された自信と内実 richness で、活発な議論が展開された。高い水準での合格と判定する。

【審査委員会】

主査 吉村豊雄
委員 三澤 純
委員 稲葉継陽
委員 丹下 栄
委員 安田宗生